



娘が泊まった部屋

①

②

③

④

⑤

イスラエルが首都と主張するエルサレム。パレスチナは今（4）

イスラエルが聖地で、パレスチナの中心都市であることに変わりはない。イスラエルが東側の東西を占領併合したため、エルサレムの中心部には両者を隔てる分離壁はない。

まず、娘が泊まった部屋。写真左側にあるバンクシーの絵は分離壁の監視塔の十字架に架けられたイエス・キリスト。高さが八㍍もある分離壁には要所々々にイスラエル兵が見張る監視塔がある。

「戦闘機が飛ぶ壁」。イエス・キリストの額にはスナイパー（狙撃手）が狙う光が当たっている。ここはパレスチナ自治区であるが、ユダヤ人入植地との間に分離壁がある。その壁に添つて覆面芸術家、バンクシーが建てたのが今話題で人気のホテルなのだ。

イスラエルがよく見える。また、高さ八㍍の分離壁の手が届く下の部分には所狭しと落書きがある。

中の中には、部屋代は約二万五千円とスペシャルームを除けば、エルトン・ジョンが言うように良いアイデアだったようだ。

娘が今回、この「巡礼の道」のためにそのホテルの写真をたくさん撮ってくれたので、前回に続いて今回も写

分離壁のホテル・続報（後）

（パレスチナは今（4））



は、エルトン・ジョンが言うように良いアイデアだったようだ。娘が今回、この「巡礼の道」のためにそのホテルの写真をたくさん撮ってくれたので、前回に続いて今回も写

る。ユダヤ人がイエスと分離壁塔を皮肉つて描いたものだ。

ス人であること以外はすべて謎に包まれ、生年月日やクリスマスかどうかもわからな

い。ホテル内の彼の作品にイエス・キリストをテーマにしたものが多いが、それはホテルがイエス生誕地・ベツレヘムにあるからではないかと娘は言う。

パンクシーはイギリス人であること以外はス人であること以外はすべて謎に包まれ、生年月日やクリスマスかどうかもわからな



③

④



⑤

②分離壁の要所々々にある監視塔③バンクシーの作品「戦闘機が飛ぶ壁」④娘の泊まった部屋の窓からの風景⑤パレスチナの人々は路上で焼くパンをよく食べる